※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０７

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『新版　公共』　（数研出版）						
副教材等	プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①人間と社会の在り方についての基本的で幅広い知識・教養，ならびに情報を適切かつ効果的に取り扱う技能を身に付けられるように配慮する。
②学習した知識・教養・技能を基礎として，学習者が人間としての在り方生き方についてみずから考えようとし，また社会の形成に主体的に寄与しようとする態度を育成できるよう，配慮する。
③自国や国際社会における現代のさまざまな課題に関し，学習者がみずから問いを立てて多面的・多角的に考察し，自主的・自律的に選択・判断できるよう配慮する。

２　学習の到達目標

①現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
③よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる私たち	・青年期と自己形成 ・人間としての自覚 ・日本人としての自覚	a:青年期は自立や自律をはかる重要な時期であること，古代ギリシアや中国の思想家の思想や三大宗教の内容，古代・中世・近世・近代の日本の思想家の思想内容が理解できている。 b: 自己形成の課題，先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響，生活文化や伝統が自分自身の生き方に与えている影響に気づくことができる。 ｃ: 自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究できている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワースシート	ワークシート 発表
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・西洋近現代の思想 ・現代の諸課題と倫理	a：近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容，地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 ｂ：先人の生き方を通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方，公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 ｃ:選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表

※令和４年度以降入学生用

２学期	公共的な空間における基本原理	・民主社会の基本原理	a: 法などの社会規範の役割，民主政治のあゆみを理解できている。 b：民主政治における国家と個人のあり方ついて主体的に考察できている。 c：民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表
	現代の民主政治と政治参加の意義	・政治参加と民主政治の課題	a: 行政機能が拡大している現状を理解できている。 b：行政機能拡大の是非について主体的に考察できている。 c：司法に関心を持ち，裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。			
	国際社会の動向と日本の役割	・国際政治の動向	a: 国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割，国際連盟・国際連合の組織と役割，冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 B: 集団的安全保障がなぜ有効なのか，国連の現状と課題について考察できている。 C: 国際社会で平和と安全を維持するため何が有効なのか，自ら意見が持て他者と意見の交流ができている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表
学年末	国際社会の動向と日本の役割	・国際政治の課題と日本の役割	a: 国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割，核軍拡から核軍縮への流れ，現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 b：国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断できている。 ｃ：国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について主体的に追究できている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度